

{19}



JAPANESE PATENT OFFICE

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 08128614  
(43) Date of publication of application: 16.05.1

(51) Int. Cl. G07F 9/02

(21) Application number: 07334523

(22) Date of filing: 22.12.1995

(30) Priority: 24.02.1995 JP 07 36503  
06.06.1995 JP 07139023  
01.09.1995 JP 07224920

**(54) AUTOMATIC VENDING MACHINE**

(71) Applicant: FUJI ELECTRIC CO LTD

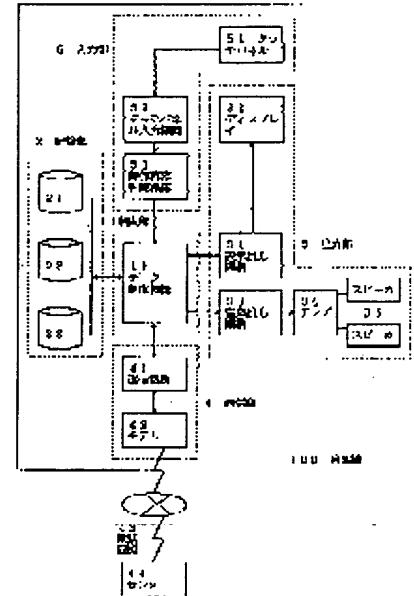
(72) Inventor: TERASAWA YOSHIO  
KANZAKI KATSUYA  
TOGASHI MASARU

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To quickly provide information by display and voice when a required optional commodity menu is selectively inputted by means of a touch panel, etc.

**SOLUTION:** Advertisement information stored in a storage part 2 is normally outputted to a display 32 and a speaker 35 in order following the scenario in a scenario data storage device 23 by a control part 1. When a user inputs a required commodity from the commodity menu on the display 32 with a touch panel 51, contents selected by operation content judging mechanism 53 is judged and transmitted to the control part 1. Data control mechanism 11 reads advertisement information of the selected contents from the storage part 2, transmits it to an output part 3 and outputs it by display and voice. Thus, information required by the user is quickly provided with a simple operation.



(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-128614

(43)公開日 平成9年(1997)5月16日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
G 0 7 F 9/02

識別記号

序内整理番号

F I  
G 0 7 F 9/02技術表示箇所  
B

審査請求 未請求 請求項の数11 O.L (全10頁)

(21)出願番号 特願平7-334523  
 (22)出願日 平成7年(1995)12月22日  
 (31)優先権主張番号 特願平7-36503  
 (32)優先日 平7(1995)2月24日  
 (33)優先権主張国 日本 (JP)  
 (31)優先権主張番号 特願平7-139023  
 (32)優先日 平7(1995)6月6日  
 (33)優先権主張国 日本 (JP)  
 (31)優先権主張番号 特願平7-224920  
 (32)優先日 平7(1995)9月1日  
 (33)優先権主張国 日本 (JP)

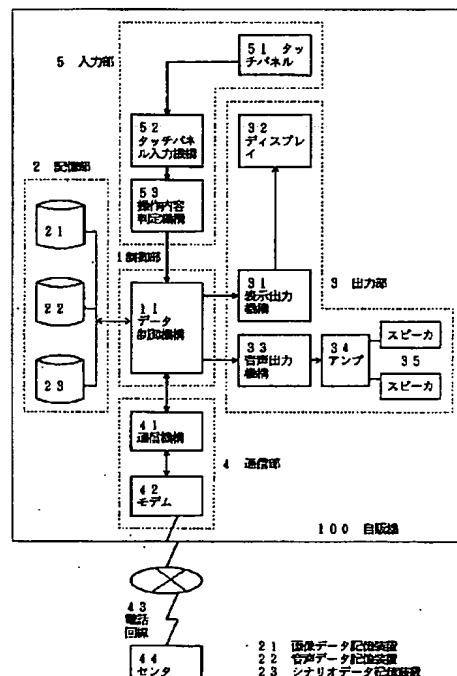
(71)出願人 000005234  
 富士電機株式会社  
 神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号  
 (72)発明者 寺澤 美穂  
 神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号  
 富士電機株式会社内  
 (72)発明者 神崎 克也  
 神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号  
 富士電機株式会社内  
 (72)発明者 富樫 大  
 神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号  
 富士電機株式会社内  
 (74)代理人 弁理士 山口 嶽

(54)【発明の名称】自動販売機

## (57)【要約】

【課題】広告装置付の自販機で、タッチパネルなどで見たい任意の商品のメニューを選択入力するとその情報がすぐに表示や音声で提供できるようにする。

【解決手段】通常は、記憶部2に記憶されている広告情報が、制御部1によりシナリオデータ記憶装置23のシナリオに従った順序で、ディスプレイ32やスピーカ35に出力されている。ディスプレイ32上の商品メニューにより利用者が見たい商品をタッチパネル51から入力すると、操作内容判定機構53により選択された内容が判定され制御部1へ送られる。データ制御機構11はその選択された内容の広告情報を記憶部2から読み出し出力部3へ送り、表示や音声出力させる。これにより、簡単な操作で利用者が入手したい情報がすぐに提供される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】広告情報を記憶する記憶手段と、広告情報を出力する出力手段と、出力手段により出力された広告情報の中から任意のメニューを選択入力する入力手段と、入力手段による選択入力があったとき、その選択されたメニューに対応する広告情報を記憶手段から読み出し、出力手段に出力させる制御部とを備えたことを特徴とする自動販売機。

【請求項2】通信回線を介してセンタから広告情報を受信する通信手段を備え、入力手段による選択入力があったとき、その選択されたメニューに対応する広告情報を、前記通信手段により受信した情報を出力手段に出力させることを特徴とする自動販売機。

【請求項3】請求項2記載の自動販売機において、通信手段により受信した情報の一部を一時記憶手段に記憶させることを特徴とする自動販売機。

【請求項4】請求項2または請求項3記載の自動販売機において、センタから受信する広告情報は、動画の画像情報を含むことを特徴とする自動販売機。

【請求項5】請求項1または2記載の自動販売機において、出力手段がグラフィックディスプレイ装置であることを特徴とする自動販売機。

【請求項6】請求項1または2記載の自動販売機において、入力手段がタッチパネルであることを特徴とする自動販売機。

【請求項7】請求項1または2記載の自動販売機において、出力手段が音声出力装置であることを特徴とする自動販売機。

【請求項8】請求項1記載の自動販売機において、通信回線を介してセンタから広告情報を受信する通信手段と、通信手段により受信された広告情報を記憶手段に記憶させる制御部とを備えたことを特徴とする自動販売機。

【請求項9】請求項1記載の自動販売機において、通信回線を介してセンタと交信する対センタ通信手段と、センタへ送信する自動販売機の商品の販売情報を編集し記憶するとともに、センタから受信した商品の宣伝情報を記憶する自動販売機側宣伝データ操作部と、自動販売機側宣伝データ操作部のデータを対センタ通信手段を介してセンタへ送信するとともに、自動販売機側宣伝データ操作部がセンタから受信したデータを記憶手段に記憶させる制御部と、通信回線を介して自動販売機と交信する対自動販売機通信手段と、自動販売機から送信された販売情報に基づき自動販売機へ送信する商品の宣伝情報を決定し、この宣伝情報を対自動販売機通信手段を介して自動販売機へ送信するセンタ側宣伝データ操作部とを備えたセンタとから構成されることを特徴とする自動販売機。

【請求項10】請求項1記載の自動販売機において、入力手段により選択されたメニューの選択実績を記憶する選択実績記憶手段と、入力手段による入力がないとき、選択実績記憶手段の記憶するデータに基づいて、現在の時刻に相当する時間帯に対する、最多選択回数のメニューから所定順位のメニューまでの広告情報を記憶手段から読み出し、出力手段に出力させる制御部とを備えたことを特徴とする自動販売機。

【請求項11】請求項10記載の自動販売機において、選択実績記憶手段に記憶されたメニューの選択実績を、通信回線を介してセンタに送ることを特徴とする広告装置付自動販売機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、広告などの情報を画面表示や音声出力により提供する装置を備えた自動販売機（以下、自販機という）に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、店やそこで販売している商品のコマーシャルなどの広告情報を表示する自販機としては、例えば自販機に内蔵したビデオディスクに広告情報を記録しておき、それを再生して音声とともにモニタに表示して提供するもの（例えば、特開平6-84057号公報）や、通信回線を介して広告情報をセンタから受信し自販機に内蔵の記憶装置に記憶しそれを表示するもの（例えば、特開平5-108938号公報）、あるいは自販機にLED（発光ダイオード）パネルを取り付け広告情報を文字表示するものなどが知られている。また、自販機の中身商品や飲料メーカーを表示、宣伝するために、実物の缶の展示、自販機本体への宣伝内容のペインティング、あるいはバリアブルポスターなどが用いられる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、前述のような自販機には次の問題がある。すなわち、広告情報を自販機に内蔵しておき画像や音声で提供するものでは、広告情報は通常、あらかじめ設定された順序で提供される。このため、広告情報を表示する場合、広告情報として、例えば品数の多いいくつもの店の広告を表示すると、自販機の利用者は自分が見たい店の商品が表示されるまで待っていなければならない。また、すぐに見たい広告情報だけを任意に簡単に選んで見ることはできなかった。

【0004】また、広告情報が自販機の中身商品の場合には、宣伝できる中身商品の種類が限られ、多様な宣伝が難しく、その宣伝内容の交換にも手間がかかった。また、自販機の集客力向上をねらってたとえば映画やコンサートなどの広告用の動画データや音声データを自販機内に記憶するには、大容量の記憶装置が必要となる。このため、自販機側の装置が高価になり記憶装置の収納ス

ベースも必要となる。

【0005】さらに、自販機自体が販売している商品の売れ行きに応じて宣伝する商品を変えたり、自販機の管理センタからのおすすめ商品などの変更を簡単に行うことはできなかった。また、利用者がどのような商品に関心があるかは広告提供者にはわからないので、宣伝効果の少ない広告を出し続けたり、利用者に関心のある商品を適切な時期に仕入れられなかつたりして、売上の機会を逃すおそれもあった。

【0006】この発明の目的は、上記の問題を解消できる、宣伝効果の高い広告装置付自販機を提供することである。

#### 【0007】

【課題を解決するための手段】発明1によれば、広告情報を記憶する記憶手段と、広告情報を出力する出力手段と、出力手段により出力された広告情報の中から任意のメニューを選択入力する入力手段と、入力手段による選択入力があったとき、その選択されたメニューに対応する広告情報を記憶手段から読み出し、出力手段に出力させる制御部とを備える。

【0008】これにより、通常は、記憶手段に記憶されている広告情報が、あらかじめ設定された順に出力手段により出力、提供されているが、利用者が、その提供順によらないで任意の広告情報を入手したいときは、出力された広告情報の中から任意のメニューを選び、入力手段により選択入力する。この割り込み操作により、制御部は、その選択されたメニューに対応する広告情報を記憶手段から読み出し、出力手段に出力提供させる。これにより、提供される広告情報のうちから、利用者が任意に選択した広告情報が提供される。

【0009】発明2によれば、通信回線を介してセンタから広告情報を受信する通信手段を備え、入力手段による選択入力があったとき、その選択されたメニューに対応する広告情報を、前記通信手段により受信した情報を出力手段に出力させる。これにより、画像や音声データのような大容量のデータを記憶するための記憶装置を自販機側に備えている必要がないので装置が比較的簡単にになり、また、多量のデータをセンタ側に記憶できるので、メニューの選択肢が増え、自販機の集客力も向上する。

【0010】発明3によれば、発明2の自販機において、通信手段により受信した情報の一部を一時記憶手段に記憶させるので、比較的小容量の記憶装置によって通信手段と出力手段によるデータ処理の整合が取りやすくなる。発明4によれば、発明2または発明3の自販機において、センタから受信する広告情報は、動画の画像情報を含むので、より宣伝効果が高まる。

【0011】発明5によれば、発明1または2の自販機において、出力手段をグラフィックディスプレイ装置とすることにより、広告情報がより正確に自然に表示さ

れ、メニュー選択入力が容易になる。発明6によれば、発明1または2の自販機において、入力手段をタッチパネルとすることにより、メニューが簡単に選択入力され、選択された広告情報が提供される。

【0012】発明7によれば、発明1または2の自販機において、出力手段を音声出力装置とすることにより、任意に選択された広告情報が簡単に識別、提供される。発明8によれば、発明1の自販機において、通信回線を介してセンタから広告情報を受信する通信手段と、通信手段による広告情報を記憶手段に記憶させる制御部とを備えることにより、メニューの選択肢が広がり任意に選択された広告情報がより容易に提供される。

【0013】発明9によれば、発明1の自販機において、通信回線を介してセンタと交信する対センタ通信手段と、センタへ送信する自販機の商品の販売情報を判定し記憶するとともに、センタから受信した商品の宣伝情報を記憶する自販機側宣伝データ操作部と、自販機側宣伝データ操作部のデータを対センタ通信手段を介してセンタへ送信するとともに、自販機側宣伝データ操作部がセンタから受信したデータを記憶手段に記憶させる制御部と、通信回線を介して自販機と交信する対自販機通信手段と、自販機から送信された販売情報に基づき自販機へ送信する商品の宣伝情報を決定し、この宣伝情報を対自販機通信手段を介して自販機へ送信するセンタ側宣伝データ操作部とを備えたセンタとを備えることにより、制御部は、自販機側宣伝データ操作部がセンタから受信したデータを記憶手段に記憶するとともに、自販機側宣伝データ操作部のデータを対センタ通信手段を介してセンタへ送信する。さらに、センタ側宣伝データ操作部は、自販機から送信された販売情報に基づき自販機へ送信する商品の宣伝情報を決定し、この宣伝情報を対自販機通信手段を介して自販機へ送信する。したがって、宣伝効果の高い広告装置付の自販機が提供される。

【0014】発明10によれば、発明1の自販機において、入力手段により選択されたメニューの選択実績を記憶する選択実績記憶手段と、入力手段による入力がないとき、選択実績記憶手段の記憶するデータに基づいて、現在の時刻に相当する時間帯に対する、最多選択回数のメニューから所定順位のメニューまでの広告情報を記憶手段から読み出し、出力手段に出力させる制御部とを備えることにより、制御部は、入力手段による入力がないとき、選択実績記憶手段の記憶するデータに基づいて、現在の時刻に相当する時間帯に対する、最多選択回数のメニューから所定順位のメニューまでの広告情報を記憶手段から読み出し、出力手段に出力させる。したがって、利用者の関心の高い商品種の広告ができ、宣伝効果の高い広告装置付自販機が提供される。

【0015】発明11によれば、発明10の自販機において、選択実績記憶手段に記憶されたメニューの選択実績を、通信回線を介してセンタに送ることにより、利用

者の関心の高い商品種が広告提供者にも分かる。

【0016】

【発明の実施の形態】

(1) 発明1~8について

図1は、発明1~8の一実施の形態を示す構成ブロック図である。この実施の形態では、複数の店のお買い得情報を、画像と音声により出力する場合を示す。

【0017】この自販機の装置は、装置全体を制御する制御部1、情報を記憶する記憶部2、情報を出力する出力部3、センタと通信する通信部4、および利用者が情報を選択する入力部5から構成される。なお、100は自販機本体を示し、図示の細線部内である。各部の構成と動作は次のとおりである。記憶部2は、商品や店の宣伝用の画像データが格納される画像データ記憶装置21、商品説明用の音声データが格納される音声データ記憶装置22、および宣伝を流す時間や順番などのシナリオデータが格納されるシナリオ記憶装置23から構成される。上記の記憶装置としては、磁気あるいは光ディスクなどが用いられる。

【0018】出力部3は、店や取り扱い商品などを表示するために制御部1からの画像信号をディスプレイ32に表示させる表示出力機構31と、商品説明のナレーションをするために、同じく制御部1からの音声信号をアンプ34を介してスピーカ35に出力させる音声出力機構33とで構成される。なお、ディスプレイ32には画像表示が可能なグラフィックディスプレイが用いられる。

【0019】通信部4は、通信機構41とモデム42とで構成され、電話回線43を介してセンタ44から広告情報として画像データや音声データを受信する。入力部5は、前述のディスプレイ32に表示される店の商品を利用者が任意に商品メニューにより選択するためのタッチパネル51、タッチパネル51からの入力信号を送るタッチパネル入力機構52、およびタッチパネル51の操作内容を判定する操作内容判定機構53から構成される。

【0020】制御部1は、データ制御機構11を備え、入力部5からの割り込み信号(タッチパネル51からの入力)がないときは、シナリオ記憶装置23に記憶されている順序に従ってディスプレイ32やスピーカ35に広告情報を流している。タッチパネル51からの入力があり、制御部1が入力部5から信号を受信すると、選択入力された画像と音声を出力部3に出力させる。

【0021】また、データ制御機構11は、上述の通信部4にデータの受信を指示し、受信されたデータを記憶部2の各記憶装置に記憶させる。図3は、この発明による自販機の正面外観図の例である。この図で、前述のように100は自販機であり、通常の自販機と同様に、商品見本101、コイン投入口102、商品選択ボタン103、および商品取り出し口104が設けられている。

さらに、この発明による自販機100の正面には、前述のタッチパネル51を取り付けた画像表示用ディスプレイ32と、音声出力用スピーカ35が設置されている。

【0022】図4(a)、(b)は、前述のディスプレイ32に表示される出力データの例である。この図により、上述した構成の各部との主要な関係を説明する。まず、図4(a)に示すように、画面の中央部に店の名前が表示され、それを囲んでその店が宣伝する商品のイラスト(商品メニュー)を並べた図が表示される。所定の時間、例えば3秒経つと、図4(b)に示すように、上記の商品のうちの一つがディスプレイ全面に表示され、その商品について音声で説明が流れる。これが終わると、再び図4(a)に戻り、次の商品の説明に移る。この動作があらかじめ設定された順に繰り返され、店のまわりに表示された全商品の表示と音声による説明が終わると、次の店の宣伝に移り、同様の表示が繰り返される。

【0023】さらに、ディスプレイ装置32には、上述のように、タッチパネル51が取り付けられている。図4(a)の画面が表示されているときに、利用者が商品のうちで情報を知りたい商品のイラストが表示されている部分に指を触ると、タッチ入力機構52に信号が入力され、さらに操作内容判定機構53によってどのメニューが操作されたかなどの操作内容が判定され、その結果が制御部1へ送られる。制御部1は前述したように、記憶部から利用者が選択したメニューに対応する商品の広告情報を読み取り、出力部に表示と音声の説明をさせる。

【0024】なお、この実施例では、商品のイラストだけをタッチパネルで選択入力できる場合を示したが、店名なども文字やイラストなどで上述の図4(a)、(b)の画面上に表示しておき、選択入力できるようにしてもよい。また、ディスプレイ32やスピーカ35は自販機100の本体に収納された例を示したが、画像や音声信号の出力端子を設け、自販機とは別置して大型ディスプレイや大出力のスピーカに接続するようにもできる。

【0025】以上の動作により、図4(a)、(b)の表示の途中であっても、利用者の選択によって任意の商品の表示と説明に切り換わり、従来のように見たい商品の広告情報が表示されるまで待つ必要がない。なお、この実施例では、店情報について説明したが、自販機で販売する商品でも同様の動作となる。

【0026】また、上述では、制御機構11の指示によりセンタから受信された画像データや音声データは記憶部2に記憶されるようにしている。しかし、データがたとえば動画など比較的大容量のデータを含む場合には、これを記憶するための記憶装置が大容量になるのを避けるため、受信データを記憶装置に格納しないでデータ制御機構11を介して音声および画像として出力するよう

にしてもいい。なお、この場合、通信回線や出力部などのデータ処理速度などを考慮して、受信した画像と音声データの一部を一時記憶装置に記憶させるようにしてもいい。

#### (2) 発明9について

図2は、発明9の一実施の形態を示す構成ブロック図である。

【0027】この発明6の実施の形態は、上述した発明1～8の構成(図1)に、自販機側宣伝データ操作部6、センタ側通信部7、およびセンタ側宣伝データ操作部8が追加された構成になっている。自販機側宣伝データ操作部6は、自販機の中身商品の売上情報を算出する商品売上情報判定機構62、およびセンタから送信された宣伝商品種データを受信する宣伝商品種データ受信機構61から構成される。

【0028】センタ側通信部7は、モデム71、センタの通信を制御するセンタ通信機構72、および自販機から送信された売上情報を受信する売上情報受信機構73から構成される。センタ側宣伝データ操作部8は、宣伝する商品種を判定する宣伝商品種判定機構82、および自販機側へ宣伝商品種を送信する宣伝商品種データ送信機構81から構成される。

【0029】これらの動作は次のとおりである。商品売上情報判定機構62が算出した自販機の中身商品の売上情報データは、通信機構41、モデム42、電話回線43、センタ側のモデム71を介してセンタ通信機構72へ送信され、売上情報受信機構73を経由して、宣伝商品種判定機構82へ送られる。

【0030】宣伝商品種判定機構82は、受信した自販機の売上データをもとに宣伝する商品種を判定する。たとえば、過去1週間の商品種ごとの売上本数を求め、例えば売上をアップさせるため売上本数の少ないものから2つを選んで宣伝商品種と判定する。また、宣伝する商品種は、上記のように売上情報によるほかに、おすすめ商品として直接指定することもできる。なお、より売上がアップするよう売れ筋商品を宣伝商品種としてもいい。

【0031】宣伝商品種判定機構82の出力データ(宣伝商品種やおすすめ商品など)は、宣伝商品種データ送信機構81からセンタ通信機構72を経由し、センタ側モデム71、電話回線43、自販機側モデム42、通信機構41を介して宣伝商品種データ受信機構61により受信される。この受信データは、データ制御機構11により、自販機商品宣伝画像データ記憶装置24、自販機商品宣伝音声データ記憶装置25、自販機商品宣伝シナリオデータ記憶装置に、それぞれ記憶される。この場合、画像データはカラー用デジタルデータ、音声データはPCM形式のデータとすることができます。これらのデータの構成例を図5に示す。なお、この実施例では、前述の店舗宣伝データとは別の記憶装置としているが、デ

ータ容量に応じて同一の装置に記憶させてもいい。

【0032】その他の動作は、先述の発明1～5と同様であり、自販機自体の商品の売れ行きに応じて宣伝する商品を変えたり、センタからのおすすめ商品などの変更を簡単に行うことができる。

#### (3) 発明10、11について

図6は、発明10、11の一実施の形態を示す構成ブロック図である。

【0033】この発明の実施の形態は、上述した発明9の構成(図2)で、自販機100側に選択情報操作部9と、センタ44側に選択情報受信機構74とを追加した構成になっている。さらに、選択情報操作部9は、選択情報保管機構91と広告出力商品種決定機構92とから構成されている。この動作は次のとおりである。

【0034】選択情報保管機構91は、操作内容判定機構53を介して、タッチパネル51により利用者が選択した内容を記憶する。この記憶内容は、過去一定期間、たとえば1週間における曜日と時間帯別の選択回数などの選択実績である。利用者がタッチパネルで選択操作をしていない場合には、広告出力商品種決定機構92は、選択情報保管機構91が記憶している上記の選択実績に基づいて、現在の時刻、曜日に当たる時間帯に選択回数の多い商品種を順に数種類選ぶ。

【0035】そうして、データ制御機構11は、この選択回数の多い商品種に対して、店舗宣伝シナリオデータ記憶装置23の内容に基づいて、その商品の詳細広告をディスプレイ32やスピーカ35へ出力する。また、選択情報保管機構91の記憶内容は、通信機構41を介してセンタ44に送信される。送信されたデータは、センタ通信機構72を介して選択情報受信機構74に入力される。さらに、この情報はセンタ44でディスプレイやプリンタ(図示していない)に出力され、広告提供者も参照できる。

【0036】以上の動作によって、利用者の関心の高い商品を広告でき、センタでもそれを把握できる。

#### 【0037】

【発明の効果】この発明によれば、ディスプレイなどの出力手段に出力されたイラストなどのメニューを任意に選択入力すると、そのメニューに対応した広告情報が制御部によって記憶手段から呼び出され出力される。したがって、利用者は、見たい広告情報があったとき、従来のように提供されるまで待たなくても、入力手段による選択入力によってすぐに見ることができる。

【0038】また、出力手段をグラフィックディスプレイ装置とすることにより、広告情報がより正確に自然に表示され、商品情報が利用者にいっそう正確に伝わるとともに、メニュー選択入力も容易になる。また、地図や人物の顔などの表示も可能となるので、メニューなどの表示の表現範囲も広がる。また、入力手段をタッチパネルとすることにより、選択入力の操作が容易になり利用

者に親しみやすい自販機になる。

【0039】さらに、音声による情報提供を行うことにより、画像と組み合わせて効果的な広告ができるとともに、メニューで選択入力後に広告情報が切り換わったことが明確に分かり便利である。また、通信手段によりセンタからデータを受信し記憶装置に記憶させないで出力するようにすれば、画像や音声データのような大容量のデータを自販機側に格納する必要がないので、自販機側の記憶装置のスペースが少なくて済み、自販機側も高価にならない。そして、センタ側には多くの広告データが記憶されるので、自販機側のメニューの選択肢が増え集客力向上が期待できる。

【0040】また、通信手段により受信した情報の一部を一時記憶手段に記憶するようにすれば、通信手段と出力手段によるデータ処理の整合が取りやすくなる。また、センタから受信する広告情報を動画を取り入れれば、いっそう宣伝効果が高まる。また、センタから受信した広告情報を自販機の記憶装置に記憶するようにすれば、常に最新の広告情報が選択できる。

【0041】また、自販機自体の商品売上情報を通信手段によりセンタへ送信し、センタで宣伝商品種やおすすめ商品を選んで自販機へ送信し宣伝するので、多種類の商品の宣伝ができるとともに、その時点で最適の商品を宣伝でき、おすすめ商品をセンタから簡単に変更でき、いっそう大きな宣伝効果が得られる。また、利用者の操作がない場合に、選択実績記憶手段に記憶させた時間帯別のメニュー選択回数データを参照して、選択頻度に基づいて商品の広告をするので、その時間帯で売上に結びつく商品を宣伝でき、不特定多数の通行者への宣伝効果も生まれる。

【0042】また、選択実績をセンタへ伝送すれば関心の高い商品が分かるので、商品を適切な時期に仕入れるなどの販売計画を立てることができ売上増に結びつき、また効果的な宣伝計画を立てることもできる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】発明1～8の一実施の形態である自販機を示す構成ブロック図

【図2】発明9の一実施の形態である自販機を示す構成ブロック図

【図3】発明に基づく自販機の正面外観例を示す図

【図4】発明に基づく表示画面を示す図で、(a)は店と商品メニューを示す図、(b)は(a)に示す商品の一つを表示する表示画面の例を示す図

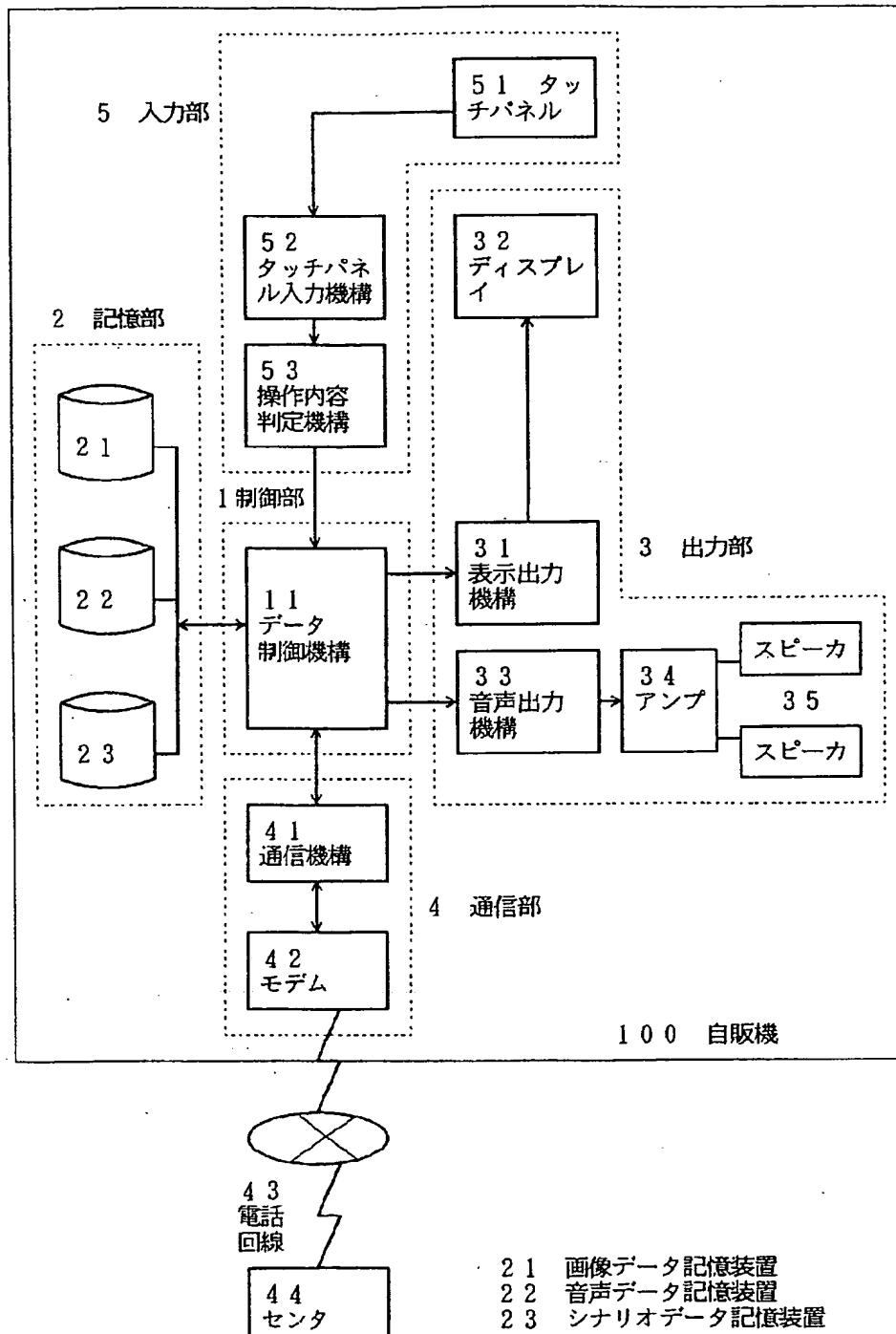
【図5】記憶装置内のデータ構成例を示す図で、(a)は画像データ、(b)は音声データ、(c)はシナリオデータに対する各記憶装置内のデータ構成例を示す図

【図6】発明10、11の一実施の形態である自販機を示す構成ブロック図

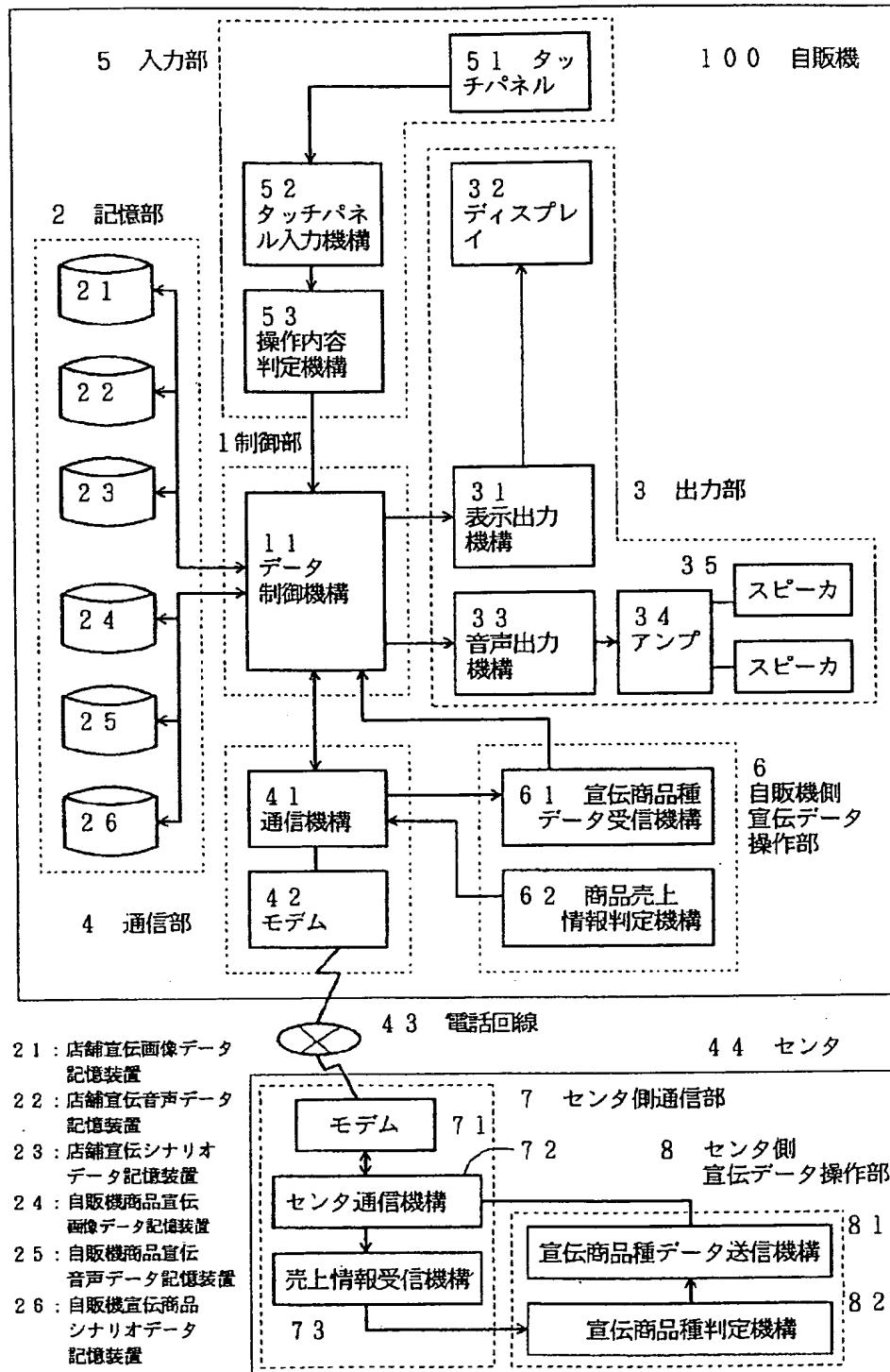
#### 【符号の説明】

1…制御部、2…記憶部、3…出力部、4…通信部、5…入力部、6…自販機側宣伝データ操作部、7…センタ側通信部、8…センタ側宣伝データ操作部、9…選択情報操作部、21…画像データ記憶装置、22…音声データ記憶装置、23…シナリオデータ記憶装置、24…自販機商品宣伝画像データ記憶装置、25…自販機商品宣伝音声データ記憶装置、26…自販機商品宣伝シナリオデータ記憶装置、31…表示出力機構、32…ディスプレイ装置、33…音声出力機構、34…アンプ、35…スピーカ、41…通信機構、42、71…モデム、43…電話回線、44…センタ、51…タッチパネル、52…タッチパネル入力機構、53…操作内容判定機構、72…センタ通信機構、73…売上情報受信機構、74…選択情報受信機構、81…宣伝商品種判定機構、82…宣伝商品種データ送信機構、91…広告出力商品種決定機構、92…選択情報保管機構、100…自販機、101…商品見本、102…コイン投入口、103…商品選択ボタン、104…商品取り出し口。

【図1】



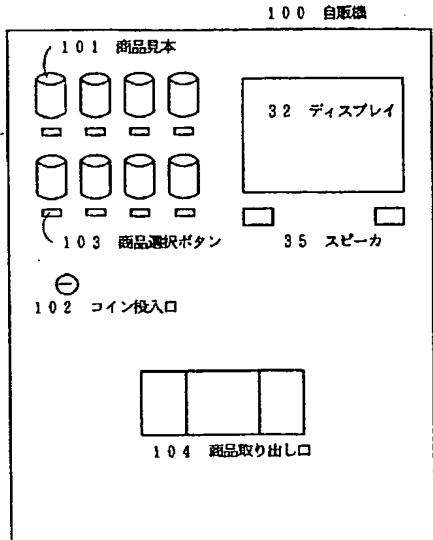
【図2】



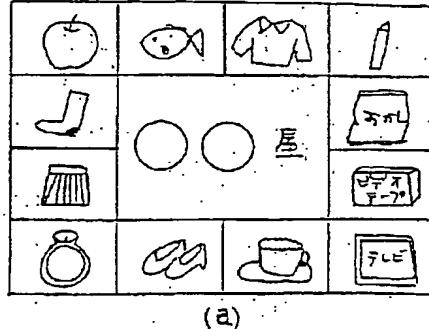
(9)

特開平9-128614

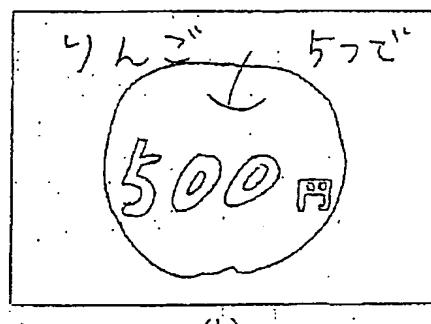
【図3】



【図4】



(a)



(b)

【図5】

(a) 画像データ

画像 データ 番号 11 タ	画像 データ 番号 12 タ	画像 データ 番号 13 タ	画像 データ 番号 14 タ	画像 データ 番号 15 タ	画像 データ 番号 16 タ	画像 データ 番号 17 タ	画像 データ 番号 18 タ
----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

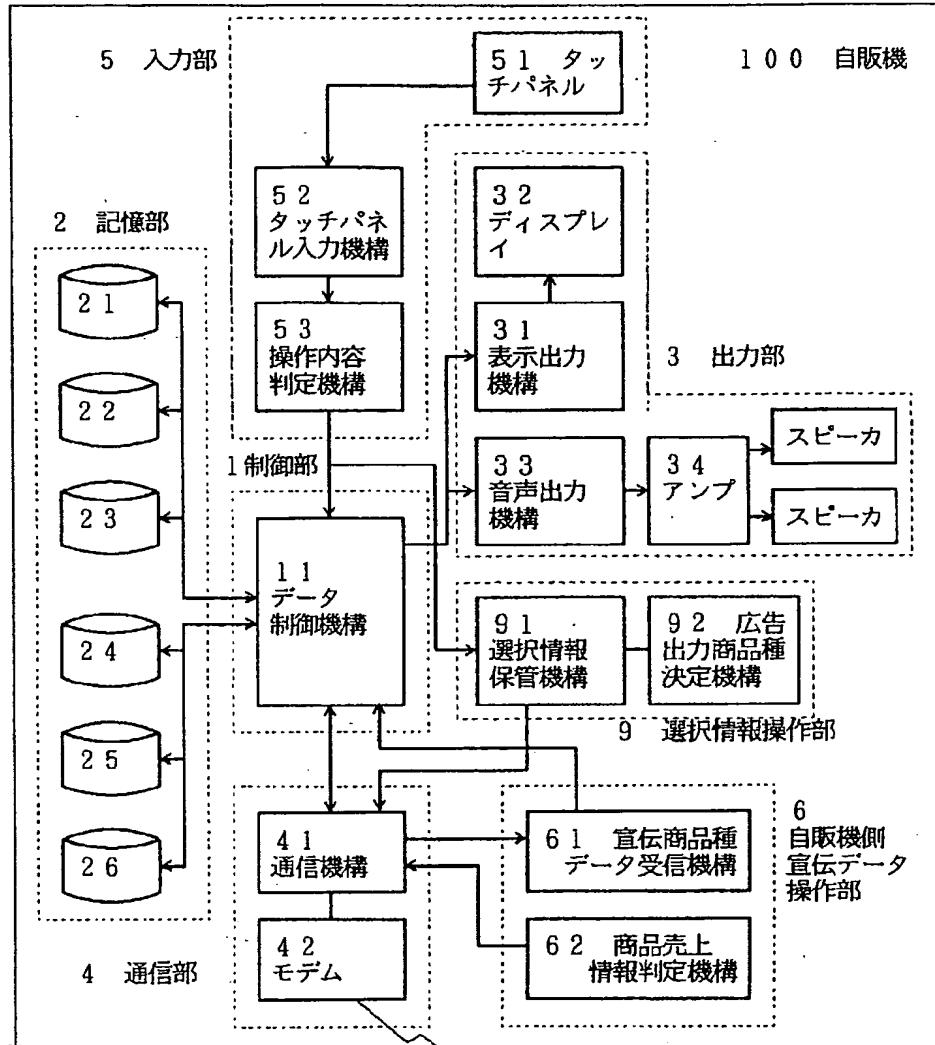
(b) 音声データ

音声 データ 番号 11 タ	音声 データ 番号 12 タ	音声 データ 番号 13 タ	音声 データ 番号 14 タ	音声 データ 番号 15 タ	音声 データ 番号 16 タ	音声 データ 番号 17 タ	音声 データ 番号 18 タ
----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

(c) シナリオデータ

デシ商 1ナ品 タリ種 オ1	デシ商 1ナ品 タリ種 オ2	デシ商 1ナ品 タリ種 オ3	デシ商 1ナ品 タリ種 オ4	デシ商 1ナ品 タリ種 オ5	デシ商 1ナ品 タリ種 オ6	デシ商 1ナ品 タリ種 オ7	デシ商 1ナ品 タリ種 オ8
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

【図6】



21 : 店舗宣伝画像データ記憶装置  
 22 : 店舗宣伝音声データ記憶装置  
 23 : 店舗宣伝シナリオデータ記憶装置  
 24 : 自販機商品宣伝画像データ記憶装置  
 25 : 自販機商品宣伝音声データ記憶装置  
 26 : 自販機宣伝商品シナリオデータ記憶装置

